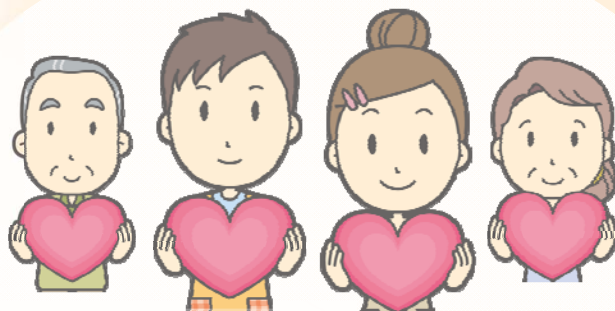


# 基礎からしっかり学ぶ 介護職員 実務者研修科

実践コース 介護・医療・福祉分野



**募集期間**

令和5年9月13日(水)～令和5年10月3日(火)  
※ただし定員に満たない場合は、令和5年10月11日(水)まで募集を延長します。

**訓練期間  
訓練時間**

令和5年11月1日(水)～令和6年4月30日(火)（6ヶ月訓練）  
9：30～16：10（昼休み 12：20～13：20）  
※土・日・祝日の訓練はありません。  
※12/29～1/3の訓練はありません。  
※実習中は企業実習先施設によって訓練時間が異なります。

**感染症・天候等の状況により、日程が変更される場合があります。**

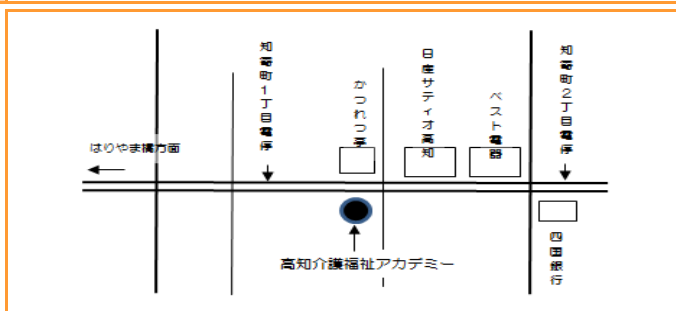
|                   |  |               |   |
|-------------------|--|---------------|---|
| <b>対象者</b>        | 雇用保険を受給できない方（優先）で、就職意欲が高く訓練修了後早期に就職でき、公共職業安定所長の支援指示をうけられる方。<br>受講申し込みをされる方は、公共職業安定所の窓口にてご相談ください。<br>※雇用保険（失業給付）対象の方も応募できます。  | <b>受講料</b>    | 無料<br>※実務者研修の法定講習に係る補講料：1日 1,000円   |
| <b>申込先</b>        | 原則として住所を管轄する公共職業安定所へ訓練受講申込書を提出ください。<br>申込時に必要なもの：縦4cm×横3cmの写真1枚（6カ月以内）、認印、筆記用具   | <b>テキスト代等</b> | 13,420円（税込み）<br>※企業実習に伴う健康診断料、交通費（6日間）：実費<br>※新型コロナウイルスの状況により、健康診断に加え抗原検査またはPCR検査を実費により実施する場合があります。 |
| <b>新型コロナ防止対策</b>  | 3密の防止、毎朝の検温、定期的な空気の入替え、消毒を行います。  |               |   |
| <b>定員</b>         | 23名<br>※応募者が半数に満たない場合は開講しない場合もあります。<br>※定員を超える応募があった場合は、定員を増加する場合もあります。  |               |   |
| <b>選考日時</b>       | 令和5年10月17日（火）<br>9：30～（受付時間 9：00～）<br>※選考会に欠席のときは辞退とみなします。   | <b>選考場所</b>   | 下記に記載の訓練施設と同じ   |
| <b>選考方法</b>       | 面接   | <b>持ち物</b>    | なし  |
| <b>選考結果発送日</b>    | 令和5年10月20日（金） ※本人あてに郵送にて可否の通知をいたします。   |               |   |
| <b>実施施設への交通手段</b> | 駐車場：なし（自転車・バイクの駐輪場有） ※近隣に1日¥250～¥500のコインパーキング有<br>最寄駅：とさでん交通「知寄町1丁目」電停下車・徒歩3分  |               |   |
| <b>重要なお知らせ</b>    | 合格者は受講中に、公共職業安定所の指定する日に来所し、就職支援を受ける必要があります。<br>本コースの指定来所日は、令和5年12月4日（月）、令和6年1月5日（金）、2月6日（火）、3月5日（火）、4月5日（金）、5月2日（木）です。<br>・一定条件を満たす場合は、「職業訓練受講給付金」が支給されます。<br>・雇用保険の受給資格者が求職者支援訓練を受講する場合は、訓練延長給付や技能習得手当等を受給できる場合があります。 |               |   |
| <b>就職実績</b>       | 雇用保険適用就職率：74.35%<br>その他就職率：87.17%  | <b>訓練説明会</b>  | 令和5年9月19日（火）、9月26日（火）、10月3日（火）<br>募集延長の場合は、10月10日（火）にも説明会を実施します。<br>※詳細は、別紙チラシをご覧ください。              |

訓練実施機関：株式会社 青い鳥

訓練実施施設：高知介護福祉アカデミー

所在地：〒781-0806 高知市知寄町1丁目8-11

TEL：088-855-7502（担当：谷口、田所）  
受付時間：8：30～18：00（土・日・祝除く）



# 🏠 訓練カリキュラム 🏠

|              |  |                   |  |
|--------------|--|-------------------|--|
| 訓練目標         | 介護福祉士実務者研修のカリキュラムを通じて、介護施設及び障害者施設等での就労に必要な介護の基本理念と基礎的な介護技術を習得する。 |                   |  |
| 就職を想定する職業・職種 | 訪問介護職<br>施設介護員   | 訓練修了後に<br>習得できる資格 | 【名称】 介護福祉士実務者研修修了<br>【認定機関】 高知県認定 株式会社 青い鳥 |

| 課<br>内 | 学<br>科 | 科目   | 科目の内容  | 訓練時間 |       |
|--------|--------|--|--|------|-------|
|        |        | 開講式・オリエンテーション、閉講式                          | 開講式・オリエンテーション（3H）、閉講式（3H）  |      |       |
|        |        | 就職支援                                       | 介護現場の求める人物像を知る、履歴書、職務経歴書、ジョブカードの書き方、面接の受け方をシミュレーション方式で学ぶ   | 18時間 |       |
|        |        | 安全衛生                                       | 心身の健康管理、整理整頓の原則  | 2時間  |       |
|        |        | 人間の尊厳と自立                                   | 人間の尊厳と自立、介護における尊厳の保持・自立支援  | 6時間  |       |
|        |        | 社会の理解Ⅰ                                     | 介護保険制度   | 6時間  |       |
|        |        | 社会の理解Ⅱ                                     | 生活と福祉、社会保障制度、障害者自立支援制度、介護実践に関する諸制度   | 30時間 |       |
|        |        | こころとからだのしくみⅠ（座学）                           | 介護に関連した身体の仕組みの基礎的な理解（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔）   | 21時間 |       |
|        |        | こころとからだのしくみⅡ（座学）                           | 人間の心理、人体の構造と機能、身体の仕組み、心理・認知機能等を踏まえた介護におけるアセスメント・観察のポイント  | 12時間 |       |
|        |        | 発達と老化の理解Ⅰ                                  | 老化に伴う心の変化と日常生活への影響、老化に伴うからだの変化と日常生活への影響  | 12時間 |       |
|        |        | 発達と老化の理解Ⅱ                                  | 人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多い症状・疾病等と留意点   | 24時間 |       |
|        |        | 認知症の理解Ⅰ                                    | 認知症ケアの理念、認知症による生活障害、心理・行動の特徴、認知症の人とのかかわり・支援の基本   | 12時間 |       |
|        |        | 認知症の理解Ⅱ                                    | 医学的側面から見た認知症の理解、認知症の人や家族への支援の実際  | 24時間 |       |
|        |        | 障害の理解Ⅰ                                     | 障害者福祉の理念、障害による生活障害、心理・行動の特徴、障害児者や家族へのかかわり・支援の基本  | 12時間 |       |
|        |        | 障害の理解Ⅱ                                     | 医学的側面から見た障害の理解、障害児者への支援の実際   | 24時間 |       |
|        |        | 介護の基本Ⅰ                                     | 介護福祉士制度、尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開、介護福祉士の論理   | 12時間 |       |
|        |        | 介護の基本Ⅱ                                     | 介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護福祉士の安全   | 24時間 |       |
|        |        | コミュニケーション技術                                | 介護におけるコミュニケーション技術、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション                                      | 24時間 |       |
|        |        | 生活支援技術Ⅰ（座学）                                | 生活支援とICF、環境整備、福祉用具活用等の視点についての基礎知識  | 12時間 |       |
|        |        | 生活支援技術Ⅱ（座学）                                | 利用者の心身の状況に応じた介護についての基礎知識   | 3時間  |       |
|        |        | 介護過程Ⅰ                                      | 介護過程の基礎的知識、介護過程の展開、介護過程とチームアプローチ   | 21時間 |       |
|        |        | 介護過程Ⅱ                                      | 利用者の状態（障害、要介護度、医療依存度、居住の場、家族の状況等）における事例、事例における介護過程の展開、観察のポイント、安全確保・事故防止、家族支援、他機関との連携考察               | 27時間 |       |
|        |        | 医療的ケア（座学）                                  | 医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引・経管栄養・喀痰吸引演習・経管栄養演習（胃ろう、腸ろう、経鼻経管栄養）・救急蘇生法演習を行うにあたっての基礎的知識、人間の尊厳と医療の倫理、医療・介護関連法規とチーム医療 | 60時間 |       |
|        |        | 実習事前講習                                     | 介護実習に向けての心構え、注意事項等の説明  | 6時間  |       |
|        |        | 実習事後講習                                     | 介護実習後の事例検討、振り返り  | 6時間  |       |
|        |        | 修了考査                                       | 実務者研修学科修了テスト   | 3時間  |       |
| 実<br>技 |        | 生活支援技術Ⅰ（実技）                                | ボディメカニクスの活用、介護技術の基本（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等）  | 8時間  |       |
|        |        | 生活支援技術Ⅱ（実技）                                | 利用者の心身の状況に合わせた介護、福祉用具等の活用、環境整備、終末期の介護（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護）                      | 28時間 |       |
|        |        | 介護過程Ⅲ（実技）                                  | 介護過程の展開の実際、介護技術の評価   | 48時間 |       |
|        |        | こころとからだのしくみⅡ（実技）                           | 介護・連携等の留意点（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護）   | 48時間 |       |
|        |        | 医療的ケア（実技）                                  | 喀痰吸引、経管栄養、喀痰吸引演習（口腔、鼻腔、気管カニューレ内部）、経管栄養演習（胃ろう、腸ろう、経鼻経管栄養）、救急蘇生法等の演習 ※シミュレータ装置による演習となります。              | 48時間 |       |
|        |        | 救命講習                                       | 心肺蘇生法演習、人工呼吸技術演習   | 4時間  |       |
|        |        | 企業実習                                       | 施設・居住型への実習、通所介護事業所・小規模多機能型対応への実習、訪問介護事業所への実習<br>※実習先は高知県内多数の中から選択                                    | 36時間 |       |
|        | 職業人講話  | 「介護現場の状況やサービス内容について」<br>高知家の女性しごと応援室アドバイザー | 3時間×2日<br>6時間  |      |       |
| 訓練総合計  |        | 学科   | 401時間  | 実技   | 184時間 |
| 627時間  |        | 職業人講話                                      | 6時間  | 企業実習 | 36時間  |



車いす・ベッド等、  
実技に必要な物品を  
十分に取り揃えています。



医療的ケア（喀痰吸引・経管栄養）の勉強を、  
座学60時間・実技48時間をかけて行います。  
実技では、写真のようなモデルを使って学習します。



教室にはプロジェクターやスピーカーを備  
えており、DVD等の映像教材を使つての学  
習も取り入れています。